

確定拠出年金に関する確認書

(記入日) 年 月 日

岡三証券株式会社 殿

〒

住所 _____

氏名 _____ (印)

私は、加入または個人別管理資産を移換する確定拠出年金制度に関して、当該確定拠出年金制度の内容に関する資料、運用の方法や資産の運用に関する資料等により「金融商品の販売等に関する法律」に係る重要事項等について情報提供を受け、以下の内容を理解したことを確認いたします。

記

1. 確定拠出年金制度の具体的内容

- わが国の年金制度の概要及び年金制度における確定拠出年金の位置づけ
- 確定拠出年金は、加入者等の自己責任により運用し、その結果によって給付額が決定される年金制度である
- 拠出時・運用時・給付時にそれぞれ税制優遇措置がとられている
- 確定拠出年金の給付は、原則として60歳以降に行われ、途中で引き出しできない
- 運営管理機関及び資産管理機関（個人型確定拠出年金においては国民年金基金連合会、事務委託先金融機関）に支払われる手数料については、確定拠出年金規約の定めに基づき徴収される

2. 金融商品の仕組みと特徴

- 元本確保型商品のうち預金について、預金保険制度の対象であり、預け替え等により中途解約をする場合は、中途解約利率が適用される
- 元本確保型商品のうち利率保証型生命保険及び利率保証型損害保険について、預け替え等により中途解約をする場合は、解約控除が適用される場合があり、解約返戻金が払込保険料を下回ることがある

(裏面へ続く)

- 保険会社が経営破綻に陥った場合、保険契約者保護機構により保険契約者保護の措置が図られる場合でも、契約時の保険金額、年金額、給付金額などが削減されることがある
- 投資信託の基準価額は、それぞれの商品ごとの基準価額の主な変動要因等により下落する場合があります、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被ることがある
- リスクとリターンの関係について

3. 資産の運用の基礎知識

- リスクの種類と内容 [金利リスク・為替リスク・信用リスク・価格変動リスク・インフレリスク等]
- 長期運用、分散投資の考え方とその効果
- 運用商品説明資料（商品説明資料・月次運用状況）等によりそれぞれの商品の仕組みや特徴を理解し、また、認識した上で運用を行う

以 上